

とちぎマイスター「建築大工(大工工事作業)」の技能の例



社寺建築の設計施工

いし かわ おさむ
石川 治

伝統の技と心を伝承する仕事

(現在の仕事)

社寺建築の建立・改修工事において、計画から設計施工に携わり、施工主の意見を取り入れた、人々の心のより所となる建物造りを行っている。

(得意な分野)

社寺建築の特徴である、屋根の軒反りを優雅に見せるための平葺き屋根や彫刻を得意としている。また、使用する材料では輸入材の使用を少なくし、地場産材を多く使用しよう心がけている。そして、建築に関わる各業者も伝統技能を継承している業者を選定し、400年～500年後にも引き継ぐため、伝統技能を大切にしながらも新しい技能を取り入れた建物造りに努めている。

伝統技能を知り新しい技能に

古建築には、様々な様式があるが、どれも伝統技能である継ぎ手・仕口・ほぞなどを組み合わせたもので、これらは手道具のノミ・カンナ・ノコギリや新しい電動工具を使い仕上げ・組み立てている。

これから技能を身につけていく人は、伝統技能を理解し身に付けた上で、様々な道具を使いこなせるようにな

り、そこから新しい技能に応用して欲しい。

今後は、伝統技能の良さ、新しい技能を造るものづくりのすばらしさを伝えるとともに、手づくりの良さ、そして価値あるものを後世に残していきたいと思う。

